

科目番号	52017	分類	生殖健康学	履修者	高度実践助産コース	学年	1-2	
科目名	ウィメンズヘルス演習 (Practice for Women's Health)					1-2		
						配当セスター 通年		
担当者	○佐藤いずみ 他6名	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 ウィメンズヘルスにおけるリプロダクション領域に必要な助産のケアモデルを構築するために、女性のライフサイクル各期における健康教育プランを作成し実践する。 【目標】 1.思春期、成熟期、更年期、老年期のいずれか特定のライフステージにおいて、ヘルスケアニーズをもつ女性への健康教育プログラムを作成できる。 2.思春期から更年期の女性を対象に健康教育を実践し、評価できる。						1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
						2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
						○ 3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
						4.周産期の救急時に対応できる能力		
						○ 5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
						○ 6.研究・開発能力		
						7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画								
回	内 容					担当教員		
第1～8回 (1年後期)	保健指導プログラムの作成・支援プログラムの演習					佐藤 他6名		
第9～15回 (2年前期)	保健指導プログラムの作成・支援プログラム実施							
事前・事後 学習	事前学習：参考図書の該当部分を概観する。 事後学習：配布資料の復習および自己課題の加筆修正。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。							
評価の方法	課題 50% プレゼンテーションおよびディスカッション 50%							
参考図書 ・資料等	◎助産学講座5 助産診断・技術学I 第6版 堀内成子他 医学書院 ◎家族計画指導の実際(第2版増補版) 木村好秀 齋藤益子 医学書院 2017							
備 考	学習方法： 各フィールドにおける個別・小集団指導の実施・見学、 プレゼンテーションとディスカッション オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。							